2021 年 11 月 23 日

長野県感染対策研究会
代表世話人　花岡正幸
長野県臨床検査技師会　感染対策委員会
担当者　　征矢佳輔

信州インフェクションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2021 年 10 月データについての報告～

（データ集計日：2021 年 11 月 23 日　　集計対象施設数：61 施設）

2021 年 10 月は、東信地区で多剤耐性アシネトバクターの分離が 1 件認められました。全国的にも非常に稀な耐性菌ですので、十分に注意してください。VRSA、VRE の分離はありませんでした。
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

＜MRSA の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 6.11 %で、ほぼ横ばいで推移しています。JANIS での全国の分離率は 6.41 %（2020 年年報）です。東信地区では分離率の低下傾向が続いています。一方、中信地区での分離率は上昇傾向が続いており、注意が必要です。

＜多剤耐性緑膿菌の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 0.04%で、東信・南信地区でそれぞれ 1 例ずつ分離されています。JANIS での全国の分離率は 0.03 %（2020 年年報）です。なお、1 例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げております。

＜第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について＞

長野県全体の分離率は3.02 %でした。9月に分離率の上昇が認められた北信地区ではそのまま横ばい、中信地区では前月低下が認められましたが、今月は再び上昇しました。JANISでの全国の分離率は3.72 %（2020年年報）です。JANIS で2015年集計分より用いられている第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げております。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

【SICSS のデータを用いた学術活動について】

SICSS のデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

問い合わせ先
信州大学医学部附属病院 臨床検査部　　堀内　一樹
TEL; 0263-37-3493、 e-mail; hori9000@shinshu-u.ac.jp